

# 地球と環境

文部省選定  
教育映画祭優秀作品賞



《企画・製作》(株)桜映画社  
《協力》(財)日本視聴覚教育協会  
●規格 16ミリ・カラー・20分  
●価格 16ミリ / 150,000円  
V H S / 40,000円  
(消費税別)

【監修のことば】

地球を住みよくするために

文部省初等中等教育局教科調査官 茂木 喬

大都市を中心に深刻化する地域的な環境問題に加えて、近年、地球規模の環境問題が、いやおうなしに世界中の耳目を集めるようになった。

世界経済がますます相互依存を深める中で、我が国の国民生活や産業活動は、この問題に大きなかわりをもっている。そこで、平成5年度から実施の中学校学習指導要領においても、社会科の地理的分野において環境や資源の重要性の認識、地域の居住環境、都市化と生活の変容などの事柄が、歴史的分野において経済、科学技術の発展、公害の発生、国民生活の変化などの事柄が、公

民的分野において公害の防止など環境の保全、資源やエネルギーの有効な開発・利用などの事柄が取り上げられている。

これらの学習を通じて、地球規模の環境問題にも気付かせ、人間と自然との調和、環境の保全と改善などについて理解を深めさせる必要がある。

この映画「地球と環境」は、吟味された正確な資料に基づいて、地球規模の環境問題と身近な経済生活を結びつける教材として製作された。

百聞は一見にしかずの例えどおりに、環境教育の授業の導入としても、また、総括的なまとめの手助けとしても、有効適切に活用していただきたい。

## 製作意図

四十数億年という長い時間の中で生成されてきた、美しい地球と美しい環境。その環境の中で人々は生き、日々の暮らしを営んできている。しかし今、先進国は豊かさの中で、途上国は乏しさの中で、それぞれ環境破壊が進んでいる。

この作品では、熱帯林の破壊・地球の温暖化・酸性雨・オゾン層の破壊・海洋汚染等を通して、地球規模の環境破壊も、私たちの身近な暮らしの中にその原因がひそんでいることを気付かせようとする。

そして、地球の未来を守るために、いまなにを知り、どのような行動をひとりひとりがとることが必要なのか、その考える方向を与えることを意図している。

## あらすじ

私たち人間は、高度な技術を発達させて、豊かな生活を求め続けてきた。しかし、処理しきれなくなりつつある東京のゴミ問題からもわかるように、私たちの生活活動が環境に大きな影響を与えるようになってきている。日本の外ではどうだろうか。

熱帯地方の国々では、近年深刻な自然破壊の問題がおこっている。そのひとつとして熱帯林の問題がある。人口増加による過剰な焼畑農業や、木材の伐採などにより、自然との調和が破られ、急速に熱帯林が失われているのである。伐採された木材は、私たちの身のまわりで机や紙などの原料となるものもある。

このような大規模な破壊が広がることによって、熱帯林が果たしている地球環境をよい状態に維持するという調和機能が失われることになる。その結果、地球の温暖化という問題が起きている。熱帯林の破壊はその原因の一つと考えられている。

温暖化のもう一つの原因は、先進国が石炭・石油などの化石燃料を大量に消費することによる、二酸化炭素の増加であるといわれる。二酸化炭素の増加により、気温が上昇し、さらには海面の上昇ともなうと考えられている。そのため、いま世界の国々は、二酸化炭素を厳しく規制しようと積極的に取り組んでいる。

二酸化炭素以外にも、大気汚染は酸性雨という深刻な問題を引き起こしている。汚染された大気は、遠くまで運ばれ、酸性雨となって降りそそぐ。酸性雨はまず土地を酸性化し、やがて森林全体を破壊していく。ヨーロッパだけでなく、日本でも似た被害がはじめているため、研究が進められている。

また、スプレアの圧力剤などに広く使用されているフロンガスが、地球のオゾン層を破壊しているらしい。成層圏にあるオゾン層の破壊によって、地球にとどく紫外線が増加し、皮膚ガンなどの障害につながると考えられている。そのため、日本を含め、世界各国でフロンガス減少に向かって努力して

## 熱帯林分布図



熱帯林の破壊が進んでいる地域を濃い色で示す。  
周辺部から破壊が進行しているのがわかる。

いる。

海洋汚染もまた、一つの国だけでは解決できないほど、大規模なものになってきている。ヨーロッパの北海沿岸では、二万頭以上ものアザラシの死体が打ち上げられている。そして、死体からは非常に濃度の高いPCBなどの化学物質が検出されている。確かな原因はまだつきとめられていないが、このことは、人間の発明した化学物質が自然の力で浄化されないまま、海の中をただよっている結果だといえよう。

これら地球環境の問題は、私たちの日常生活と結びついて発生しているものが、明らかにあった。そして、私たちの生活は、膨大な資源とエネルギーを消費することで維持されている。大量生産、大量消費の生活をもう一度見直してみる必要がある。

私たちはいま、環境破壊から地球を守り、多くの生物や諸外国の人たちと共存していくために、国境を越えた地球規模で環境を考え、行動していくことが必要である。

### ●対象

高等学校社会科公民・教材  
中学校社会科・教材  
地域社会活動・教材→消費生活セミナー・婦人学級

### ●監修・指導

文部省初等中等教育局教科調査官 茂木 喬  
筑波大学附属中学校教諭 朝倉啓爾

### ●製作協力

国立極地研究所  
東京都中央区立佃中学校  
東海大学 情報技術センター  
神奈川大学井川研究室

### ●スタッフ

製作＝村山和雄 編集＝中根信也  
脚本・演出＝大島善助 音楽＝角田 敦  
撮影＝山屋恵司 解説＝寺田 農  
照明＝水村富男 録音＝東亜映像録音